

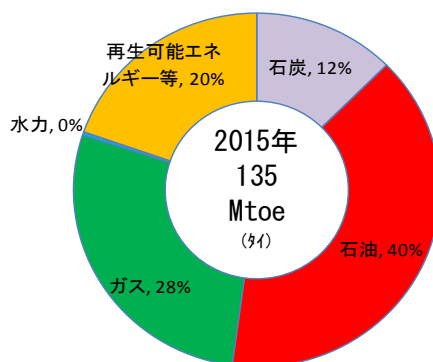
1-6 タイ

1. サマリー

1. エネルギー事情

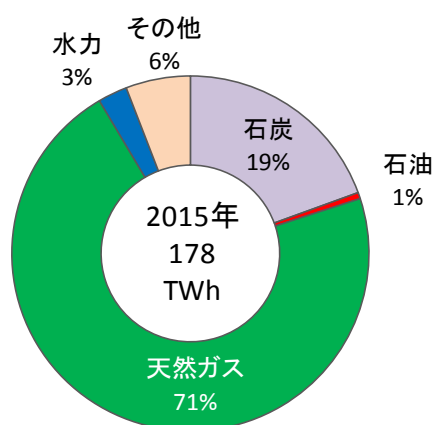
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) :135 百万 toe (日本の 0.31 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 1.99toe (日本の 0.59 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 56%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 247.5 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 21.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 3.60CO₂ 換算 ton (日本の 40.0%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 原油 2.3 年、天然ガス 5.4 年、石炭 63 年

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



Country: Thailand

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省 (Ministry of Energy) がエネルギー政策を担う。大臣は Anapong Kantanarat 氏が務める (2017 年 11 月時点)。天然資源・環境省 (Ministry of Natural Resources and Environment) が国家の天然資源保全に広範な責任を負っている。大臣は Surasak Karnjanarat 氏が務める。

(2) 基本政策

- 2008 年 12 月、Abhisit 元首相が行った政策演説において、エネルギー政策の概要「Thailand's Energy Policy (タイエネルギー政策)」が発表された。重点分野として、エネルギーセキュリティの強化、代替エネルギー導入の推進 (バイオ燃料、天然ガス自動車、再生可能エネルギー)、適切なエネルギー価格維持のための監視、省エネの推進、環境保護に資するエネルギー生産および消費プロセスの推進が挙げられている。

(3) 最近の動向

- 2016 年 6 月、閣議で石油法の改正案を承認した。改正案は石油開発業者との契約形態を増やすのが趣旨で、国会法制評議会の検証、国家立法議会 (NLA) での可決を経て施行された。同法施行を受け、政府は新たな油田開発事業の入札を開始する計画である。
- 2016 年 11 月、タイ政府は地方電力公団 (PEA) の第 1 期電力網整備計画を承認した。2016 ~2021 年に 626 億 7,871 万バーツ (1,854 億円) を投資する。同整備計画は、国家経済社会開発委員会 (NESDB) の第 12 期 5 カ年計画 (17~21 年度) に基づき策定された。
- 2017 年 5 月、エネルギー大臣は石炭火力発電所の計画停滞がボトルネックになっていることから、政府による 2015~2036 年の電源開発計画 (PDP) の見直しが必要になるとの見通しを示した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2016 年 10 月、住友商事はタイ発電公社 (EGAT) からガス火力発電所の建設を受注した。出力は 1,400MW と、ガス火力としては同国最大になる。2017 年に着工、19 年末に完成予定。
- 2017 年 5 月、新日鉄住金エンジニアリングと大阪ガス共同出資会社 NS-OG エネルギー・ソリューション・タイランド (NSET) が横浜ゴムの現地法人ヨコハマタイヤ・マニファクチャリング (タイランド) 向けに開発していたコージェネレーション (熱電併給) システムが完成し、電気と蒸気の供給を開始したと発表した。
- 2017 年 9 月、丸紅はタイ電力庁との間で、EGAT が所有する Mae Moh 石炭発電所 (2,400MW) を対象にした IoT ソリューション導入に係わる覚書を締結。発電効率の改善による燃料の削減や予兆見地による稼働率の改善につなげる。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Thailand

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		135 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		1.99 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.35 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		56 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		247.5 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		3.60 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	12 %
	石油	40 %
	天然ガス	28 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	20 %
(8) エネルギーの輸入依存度		44 %
(9) 石油の輸入依存度		63 %
(10) 輸入原油の中東依存度		65.4 %
(11) 原油の輸入先	第1位	UAE
	第2位	サウジアラビア
	第3位	マレーシア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10) : Energy Policy and Planning Office

(11) : The Customs Department of the Kingdom of Thailand